

## オアシス21 千ノ本 雅之（施設管理）

- 功 績** 日常的に災害対策意識の高い職員であり、平成30年9月6日 北海道胆振東部地震の際、素早い対応でオアシスの運営を安定させた功績。
- 推 薦 者** 宮前 元樹
- 推 薦 理 由** 日常から施設の設備の管理に携わっている千ノ本は、施設管理として震災時に何を優先すべきか理解していた。その結果、優先順位を決め先手を打った対応で、震災の停電のなかでも、ご利用者には温かい食事、職員が安心してご利用者のケアにあたることができました。また、千ノ本は常に災害訓練にも関わり、日常のご利用者の居室の家具の固定をするなど災害時の危機管理意識が非常に高い職員です。上記の事から理事長賞に推薦いたします。

### 内 容

---

9月6日（木） 午前3時8分 胆振東部地震発生（最大震度7）、石狩市（震度5弱）

同日 午前3時21分 停電発生。午前3時40分 ご利用者の安全を確認。

地震発生直後より 千ノ本含める 数名の職員がオアシス・花びりかに到着。

千ノ本は、非常電源装置、建物、ボイラー、その他の機器類を点検。優先順位を決めて実行していきましました。

#### 【功績①】

厨房での朝食の準備が始まる前に、ガスの点検が必要なため指示を出す、既に千ノ本がガス会社に連絡し、対応済み。

すぐにガス漏れが無く安全が確認でき、停電のなかでも温かい朝食を提供できた。

#### 【功績②】

停電の長期化が予想されるなか、非常電源の軽油の補充が必要となり、朝早めに購入を指示するも、既に配送手配済み。ポリタンク6個分を確保。その他、ボイラー点検、食事を運搬するダムウェーターやエレベーターの点検なども行い、停電時でもご利用者には温かい食事を提供でき、職員も看護・ケアに専念できる環境を整え、また、早期の復旧にも貢献しました。そして、今回課題になった、水を送る地下ポンプの改善案も提出され、万一の次回の震災に備えた対策を行うことができました。